

平成19年度上期 電力需給状況

需要の概要

平成19年度上期の販売電力量は、145億2千8百万kWh時、前年比 101.8%となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、8月後半以降の高気温はあったものの、春先や7月の気温影響による空調需要の減少などから、前年比 99.2%となった。

電灯等の低圧需要の9月分検針期間は、前月(8月)の検針日～当月(9月)の検針日の前日までの1か月間であるため、9月後半における高気温の影響の一部は、下期の10月分に反映される。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、8月後半以降の高気温による冷房需要の増加などから、前年比 103.9%となった。

産業用の「大口電力」は、紙・パルプや鉄鋼での生産増などから、前年比 105.4%となった。

供給の概要

- 原子力は、前年に比べ定期検査が減少したことなどから、前年比 114.6%となった。
- 水力は、本年度が渇水、前年度が豊水だったことから、前年比 60.7%となった。
- 火力は、水力の減少および需要の増加などにより、前年比 112.5%となった。

需要実績

(百万kWh時、%)

		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	4,550	99.2
	電 力	1,051	96.7
	計	5,601	98.7
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	3,410	103.9
	産業用電力	5,517	103.8
	うち大口電力	(4,253)	(105.4)
	計	8,927	103.8
販売電力量 計		14,528	101.8
融 通		3,875	122.0

注：特定規模需要とは、特別高圧電力および高圧電力の合計で自由化の対象。

大口電力の主な産業別内訳

(百万kWh時、%)

	電力量	前年比		
		19 / 上	18 / 下	18 / 上
紙・パルプ	837	115.4	107.1	107.9
化 学	839	99.2	103.7	105.9
鉄 鋼	460	110.0	100.5	89.9
機 械	888	102.0	101.7	106.4
その他	1,229	104.7	107.4	106.5
合 計	4,253	105.4	104.6	104.6

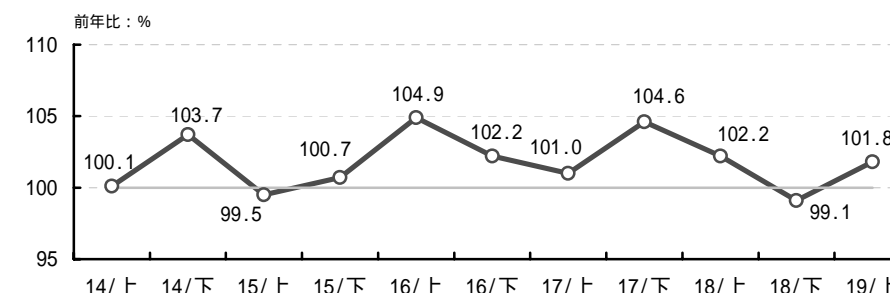
供給実績

(百万kWh時、%)

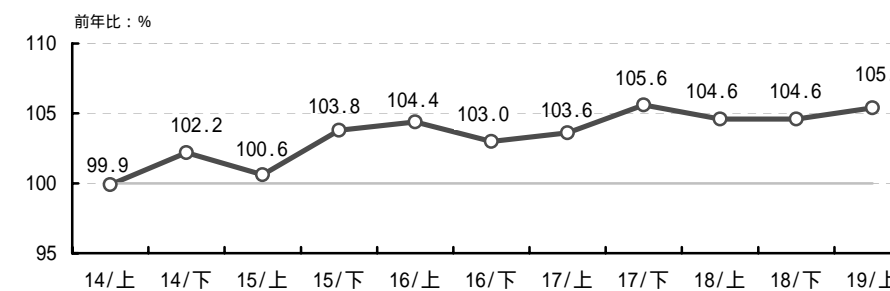
		電力量	前年比	備 考
原子力	(37)	7,639	114.6	出水率 75.0% (18年上期出水率 119.9%)
水 力	(8)	1,684	60.7	
火 力	(54)	10,943	112.5	
新エネ	(1)	121	192.7	
発受電計	(100)	20,387	106.0	
その他		189		
供 給 計		20,198	106.0	

注：()内は構成比

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



(参考2) 大口電力の前年比の推移



(参考3) 4県都平均気温

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績	10.4	14.7	19.6	23.4	25.9	28.8	26.9
平年差	1.1	0.1	0.8	0.9	0.6	1.5	3.1
前年差	1.5	0.8	0.1	0.1	1.0	0.1	2.7

(参考4) 各県別の需要状況

(百万kWh時、%)

	徳 島	高 知	愛 媛	香 川
販売電力量計	(100.5) 3,244	(99.7) 2,387	(103.2) 5,100	(102.3) 3,797

注：()内は前年比